

3つのねがい

みんなが

すべての人が利用しやすい公園に。

「入り口に柵があって、僕の車いすは通れないんだ」
「ベビーカーだと段差が厄介で…」
「ベンチがあれば腰掛けて孫たちを見守れるんだけどねえ」

従来型の公園は利用できない、あるいは利用しにくい人たちのために、ユニバーサルデザインの考えを取り入れたい。

楽しく

遊具に多彩な工夫と遊びの要素を。

「私も、てっぺんまで上がれたらな…」
「背もたれのあるブランコなら、安心して乗せられそうだな」
「触るといろんな音がしたら、きっと楽しいよ。見えても見えなくても」

典型的なブランコやすべり台だけでは、存分に楽しめなかった子どもたちのために、豊富な遊びの選択肢を提供したい。

一緒に

多様な人がお互いを理解し合える場に。

「近所の〇〇ちゃん、学校違うけど放課後一緒に遊べたらな…」
「僕も公園でみんなとまざって遊びたい」
「この子と気軽に行ける公園があれば、私もママ友が増えるかも」

障害などの理由で、一緒に遊ぶ機会が持ちにくかった子どもどうしや親たちのために、多様な人がしぜんに関わり合える公園にしたい。

こんな公園、あったらいいな！

「みんなの公園」とは、障害の有無などに関わらずすべての子どもが自分の力をいきいきと発揮しながら、様々な友だちとともに遊び学べる公園です。



「てっぺんで会おうよ！」

スロープで、はしごで、ネットで、ロッククライミングで…。
いろんなルートで上がってくる友だちと、てっぺんで集合だ！
どんな景色が見えるかな？ 誰もが複合遊具の頂上までたどり着けます。



「みんなの公園」では、
より多くの様々な子どもたちの
笑顔に会えるはず。

お気に入りの場所、見つけた！

何だか入ってみたいくなる子どもサイズのスポット。
ここは自分だけの特別な基地、木の実や小石を集める研究室、
友だちと開く夢のお店屋さん…。
居心地のよいスペースは、いろいろな子どものお気に入り。



感覚刺激がいっぱい。

音がする！ 触って気づく！ 見ておもしろい！
回して、ひねって、考えて…。
それぞれの子どもが、自分の持っている力を
いきいきと発揮して遊べます。



となりどうしで遊ぼ。

車いすに乗っている子とその友だち、
お兄ちゃんとまだ小さな妹、
そして今日出会ったばかりの新しい友だち…。
となりに並んで一緒に遊ぶともっと楽しいね。

